

学校法人 福原学園
平成21年度事業計画

学校法人福原学園 理事会

目 次

1 . 平成 2 1 年度事業計画の基本方針	2
2 . 平成 2 1 年度の事業計画	2
(1) 教育改革及び学生募集の推進	2
1) 大学・短期大学	
学部等の改編	
学生募集	
教育の内容・方法等の充実	
学生支援	
キャリア支援	
研究推進・国際化	
地域貢献	
大学基準協会等による認証評価	
「教育研究支援募金」の募金活動の推進	
2) 高等学校	6
教育の質的向上	
クラブ活動の指導強化	
3) 九州女子大学附属幼稚園	6
(2) 管理運営体制の整備・改善	6
1) 各種委員会の見直し、再編	6
2) 事務組織の機能・編成の見直し	6
3) 事務職員等の人事制度	7
4) 教員の昇任基準の明確化	7
5) 教職員の新給与体系と人事評価	7
(3) 教育研究環境	7
1) 附属図書館の整備と活用	7
2) 施設環境の整備	7
3) 設備の充実	7

福原学園平成21年度事業計画

1 平成21年度事業計画の基本方針

福原学園は、建学の精神「自律処行」の理念に基づき、人材育成という教育の原点を踏まえ、学生等の立場に立った教育を進めるとともに学園財政の収支均衡化を最大限の目標とし、学園基盤の根幹をなす大学、短期大学、高等学校及び幼稚園の改革を積極的に推進する。

このため、福原学園中期計画小委員会のもとで「大学運営・教育サービスの革新 中期計画」を策定したところである。中期計画の期間は、平成20年度から平成25年度の6ヶ年計画とし、今年度は中期計画の2年目として、平成20年度の実施状況を点検・評価し、平成21年度の事業計画の達成に向けた取り組みに反映させることとする。

2 平成21年度の事業計画

(1) 教育改革及び学生募集の推進

1) 大学・短期大学

大学・短期大学の教育改革については、平成19年度に、大学改革検討委員会のもとに学部等の改革のため「工学部改革検討小委員会」「スポーツ学部改革検討小委員会」及び「九州女子短期大学改革検討小委員会」を設置して具体的方策を検討してきたところである。今後、大学改革検討委員会においては、改革のアクションプランの成案を得て、機関決定の後、学長を中心とした推進体制のもとに大学改革を進める。

一方、大学・短期大学の学生確保については、平成19年度に、大学改革検討委員会のもとに「九州共立大学学生募集対策小委員会」「九州女子大学・九州女子短期大学学生募集対策小委員会」を設置し、法人入試広報室と設置大学が連携し学生確保に係る施策を実施しているところであるが、さらに、高等学校の進路指導状況を調査分析し、地元を含めた募集対策を見直し、学生確保を積極的に進める。

学部等の改編

イ) 九州共立大学工学部については、工学部改革検討小委員会からの「答申」を受けて、他学部とのコラボレーションを含め、学生の募集停止後の在り方について具体的方策を示す。また、スポーツ学部については、今年度に完成年度を迎えるので、それを待って教免を含めた教育改革を検討する。

ロ) 九州女子大学・九州女子短期大学については、ここ数年、短期大学の入学定員の充足率が低下しており、短期大学と九州女子大学人間科学部との発展的融合による九州女子大学人間科学部の改組を平成22年度に行う。また、短期大学については、社会ニーズに対応した人材育成に主眼を置いた新たな教育組織の再構築について引き続き検討を進める。

学生募集

イ) 受験生の確保の観点から学部・学科単位の人材育成及び教育研究上の目的等（アドミッションポリシー）をより明確にし、ホームページ及び入試要項や大学案内等で受験生等に広く周知を図る。また、学生確保のために入学アドバイザーと連携を取りながら、卒業生や縁故知人など大学及び教員の人的ネットワークを活用し、教員が高校訪問を行うことで高等学校との信頼関係を再構築する。さらに重点地域への高校訪問を行い新規

指定校を開拓する。また、高校との情報交換を密にして入試制度及び入試業務の改善を図り、受験生の確保に繋げる。

教育の内容・方法等の充実

(九州共立大学)

イ) 教育専門能力の向上

先進他大学のFDセンター教員を講師として招聘し、学内における「模擬授業研修会」を開催し、あわせて各教員からの感想を求め、学内におけるワークショップを開催する。

ロ) Webの積極的利用と導入(授業記録の公開、ゴーイングシラバスの活用)

授業公開ソフト(ゴーイングシラバス)を全学的に活用することによって授業内容をWeb上に公開し、学生の予習や復習に役立てる。さらに教員のシラバスや授業改善を図る。

ハ) 成績評価の公正、厳正化(GPA)

新入生からGPA制度を導入し、履修指導、学習支援、FD活動、成績優秀者選考等に活用する。

ニ) シラバスの改善・向上

カリキュラムコーディネーター体制を整備充実し、シラバスの内容が学生に理解できる内容となっているかなど、学生の授業に対する「満足度」を分析し、FD活動を通じて学生にあった教授法、授業法を構築する。

(九州女子大学・九州女子短期大学)

ホ) 少人数ゼミによるきめ細かい教育の継続実施

少人数ゼミは既に全学的にカリキュラムとして整備されており、これを継続実施するとともにシラバスの活用やFDの推進と連動させながら拡充を図り、きめ細かい教育の向上、問題解決などによる改善を図る。

ヘ) 成績評価法・成績評価基準の明確化及び周知

シラバスデータの全チェックを継続的かつ組織的に検証し、学生の授業満足度を向上させる。さらに教員ハンドブックにシラバスの成績評価の明確化および各授業科目の目的・到達目標を明示し、教員への周知、理解を深める。

ト) 入学前学習のサポート

入学前学習を実施している学科については、実施内容(課題等)の再検討を行い、更なる充実を図る。また、未実施の学科についてはその導入を検討し、全学部・学科での実施を目指す。

チ) 授業改善の支援体制の整備

- ・ フィードバック・アンケートの集計データを分析し、必要に応じ授業担当者への改善要求を求めるなどのフィードバックを行う。
- ・ 授業相互参観を試行的に実施し、実施後は報告書の提出などにより問題点を見直していく。
- ・ FDのための外部研修会への積極的参加や講演会を開催し、授業改善・充実のための能力開発・意識向上を図る。

リ) 低学年次における導入教育(フレッシュマン教育)の実施

初年次導入教育の一環として、入学時に新入生オリエンテーションや学外研修を全

学的に行う。

又) キャリア教育の充実(科目の開設)

一年次から四年次までの大学生生活全般を通じたキャリア教育の実現を目指し、全学的な取り組みとして「キャリアデザイン科目」を九州女子大学人間科学部の改組を機に開設するため、具体的な内容の検討を行う。

学生支援

(九州共立大学)

イ) クラブ活動・自主サークル活動の活性化

クラブ活動・自主サークル活動に対し、練習場の確保や部室を含め、クラブ・サークルの活動がスムーズに行うことができる環境を整備する。

ロ) 学内福利厚生施設の運営充実

学生が利用する施設及び備品についてアンケート調査を実施し、学生が利用しやすい環境を整備する。

ハ) 学習サポートの充実

理解度支援、やる気支援の2つの支援をテーマに各教員による学習支援チューター活動を義務化し、データベース化し、学習サポートの充実を図る。

(九州女子大学・九州女子短期大学)

二) 各種学外奨学金の情報収集と提供の充実

学納金未納における除籍者や退学者の減少を目的とした各種学外奨学金の情報収集と学生への提供の充実を図る。

ホ) 学生代表との定期的な意見交換システムの充実(キャンパスミーティング)

学生と教職員が一体となって女子らしさの大学ブランドを創造していくために、全学的なキャンパスミーティングを定期的に引き続き開催するとともに、学生ニーズを把握し、サポート体制の更なる充実を図る。

キャリア支援

(九州共立大学)

イ) 就職活動支援の強化

- ・ 夏季休暇、春季休暇を利用して採用試験に直結した、より実践的な集中講座を開講する。
- ・ 地元就職志向学生の就職活動支援のため、学生出身地の企業求人情報と企業開拓を行う。また、収集した情報を学生へ提供する場「求人情報提供セミナー(仮称)」を定期的を開催する。
- ・ インターンシップの制度を強化し、就職意欲の向上と就職後のミスマッチを防止する。
- ・ キャリアカウンセラーを常駐・活用し、社会に適應できる学生の育成に取り組む。さらに、早期の進路選定の能力を身につけ自ら進んで行動でき人と交われる能力を身につけた学生の育成を目指す。

(九州女子大学・九州女子短期大学)

ロ) 企業等の人材アンケート調査

卒業生の就職先企業を追跡調査し、企業側の学生評価結果を人材育成の目標等キャリア支援に反映させる。

八) 免許・資格支援体制の強化

平成20年10月に免許・資格支援室を設置し、教員免許、管理栄養士資格等の業務を集約した。本年は保育士事務業務を免許・資格支援室に集約化し、集中的に取得をサポートする体制を構築する。

研究推進・国際化

(九州共立大学)

イ) 研究活動の促進及び外部資金の積極的活用

- ・ 直接的に学生教育に還元される研究活動を促進する一方(研究と教育の一体化)、外部資金を獲得するための初年度投資としての学内資金による共同研究活動を推進する。
- ・ 国、県及び市、民間団体などが出資元となった多くの資金提供支援事業リストを活用して、研究の進捗に応じた募集の推進を図るとともに、随時支援事業の情報を教員に配信する。
- ・ 総合研究所として、地元社会との出会いの場であるフェアへの出展活動、教職員の研究および活動実績集の配布活動、ホームページによる総合研究所の活動などの情宣活動を継続的に行っていく。

(九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学)

ロ) 研究活動の促進及び外部資金の積極的活用

科学研究費補助金やその他の競争的研究資金への応募を原則義務化するとともに、獲得と研究を支援するためのサポート体制の構築を推進する。

(九州共立大学)

八) 協定校との交流拡充

海外協定校からの質の高い留学生受け入れのためには、既存の留学生宿舎以外に学園として安定供給できる宿舎の確保を行い、協定校等と一層の交流拡充を図る。

(九州女子大学・九州女子短期大学)

二) 中華女子学院との共同研究及び研究者交流を引き続き実施する。また、協定校からの留学生の増加が見込まれることから、折尾マンションを留学生専用寮へ移行する。

地域貢献

(九州共立大学)

イ) 他大学との連携

北九州・下関両市の6大学が教育や地域交流を連携して進める「大学コンソーシアム関門」に参画し、単位互換協定を締結したところである。活動事業である関門地域の産業・経済、文学近代遺産などをテーマとした「関門学」の一つとして自然環境をテーマとした教養教育科目を開講する。

(九州女子大学・九州女子短期大学)

ロ) 産学官連携等の推進及び免許更新制への対応

個人、学科、グループ等、大学で実施されている様々な研究と研究者に関する情報を地域に公開し、地域との交流及び産学官連携等を推進する。また、九州共立大学と九州女子大学が連携して、教員免許更新講習を開始する。

ハ) 周辺地域の小学校への「学生サポーター」制度

一般的なボランティアと分け、人間発達学科等の特別事業として中間市、福岡市と協定を結んでいる「学生サポーター」制度を引き続き実施し、地域・社会貢献へと繋げていく。

大学基準協会等による認証評価

イ) 九州共立大学は、日本高等教育評価機構への認証評価申請（平成22年度）に向けた準備作業を進める。

ロ) 九州女子大学は、大学基準協会への認証評価済みであり、今後改善に向け改革を進める。

九州女子短期大学は、短期大学基準協会への認証評価申請（平成22年度）を見据えた準備作業を進める。

「教育研究支援募金」の募金活動の推進

広報範囲を大学に絞り、教育研究活動等を中心とした学園広報誌（liberty）の創刊にあわせ、学生等への支援策として設立した「教育研究支援募金」の募金活動を推進する。

2) 高等学校

教育の質的向上

教諭の流動化を図り、優秀な教諭を配置し、北九州におけるブランド校としての位置付けを確立する。

クラブ活動の指導強化

文武両道の高等学校として、クラブ活動にも積極的に取り組み、環境の整備を図る。

3) 九州女子大学附属幼稚園

九州女子大学の附属という特色を生かし、幼大連携の個性ある園児教育を継続して行う。

(2) 管理運営体制の整備・改善

学長、部局長等のリーダーシップの下、機能的な運営組織の整備を図り、戦略的な学内資源配分に努め、機動的、効率的な組織運営を行う。

1) 各種委員会の見直し、再編

各種委員会については、全学的な意思決定を効果的、機動的に行える体制を整備する観点から、各種委員会を見直し、再編を行う。

2) 事務組織の機能・編成の見直し

事務担当者連絡会議の下に「業務改善プロジェクトチーム」を編成し、学園の管理運営の効率化・事務組織の高度化を推進する。

3) 事務職員等の人事制度

福原学園事務職員等の人事計画方針（学園ホームページに掲載）を着実に実施し、方針の定着化を図る。また、評価制度の導入に伴い、評価者のスキル醸成および公正な評価を実施する観点から評価者研修を継続的に実施する。

4) 教員の昇任基準の明確化

教員の昇任基準については、平成20年2月に制定したところであるが、これとは別に各学部で制定・運用している「細則」「申し合わせ」「内規」等について、引き続き標準化を図る。

5) 教職員の給与体系と人事評価

人事評価を給与へ反映させるとともに将来構想の検討や教員の支援等のための諸施策に活用し、ひいては組織の活性化に繋げることを目的とした給与体系と人事評価制度を実施する。

(3) 教育研究環境

年次計画に基づく施設設備の充実及び在校生の生活環境の優先的改善を図る。また、九州女子大学・九州女子短期大学の「本館等立替え工事实施計画の基本課題」に基づき、立替え計画に関する今後の方向性について協議する。

1) 附属図書館の整備と活用

イ) 九州共立大学、九州女子大学・九州女子短期大学図書館情報システムを更新し、図書館利用環境の高度化に資する。

ロ) 文献収集をはじめとする図書館活用のスキルアップや学習支援など、様々なサポート活動を推進する。

ハ) 学生のインターンシップや中学生の職業体験などを積極的に受け入れる。

2) 施設環境の整備

九州共立大学

イ) 野球場外野フェンス改修工事

ロ) 雨水管路補修工事

九州女子大学・九州女子短期大学

イ) 栄養学館 D456 生理学実験室及び D550・551 講義室空調機設置工事

ロ) 折尾マンション改修工事

折尾幼稚園屋上防水工事

自由ヶ丘幼稚園園児用トイレ改修工事

3) 設備の充実

九州共立大学

イ) アスレティックトレーナー養成認定校認定に伴う必置備品

- ロ) 健康運動指導士養成校認定に伴う実習用備品
- ハ) 出席管理システムの更新

九州女子大学・九州女子短期大学

- イ) 大学・短大事務システム経費一式

自由ヶ丘高等学校

- イ) 図書館システムの更新